

1 事業概要

事務事業名 堆肥センター運営事業		課名	農業課	事業No.	177	
		会計	一般会計			
		事業区分	政策	実施区分	継続	
		開始		終了		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称		
	戦略計画					
	分野別計画			地域経済活性化プログラム2017		
法令・例規等						
事業目的	対象	食べ物の残さ(生ごみ)				
	意図	リサイクルによる良質な堆肥の生産				

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	家畜排せつ物、生ごみ、きのご厩培地から堆肥を生産し、ユニー及びJAみなみ信州と連携したりサイクルループ事業に取り組み、JAねぎ部会へ約77トンの堆肥を販売しました。稲葉クリーンセンターの稼働によって家庭生ごみの搬入は無くなりましたが、良質な堆肥の生産を維持するため、代替となる事業系生ごみの確保に努めました。周辺への環境影響を把握するため、臭気・水質検査を実施し、環境に配慮した健全運営に向けた支援を行いました。長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、機械設備等の動産に関しては(有)いいだ有機が、不動産については市が費用負担するという方向性を確認しました。		管理運営業務委託料				496	
			環境影響調査委託料				62	
			借地料				135	
			保険料				22	
			その他の経費			0		
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	堆肥生産量	t	2,087	2,057				
	生ごみ搬入量	t	697	722				
29年度 決算 (千円)	予算額	1,348	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	715						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
一般財源	715							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	25	4	1,348	715	堆肥センター運営事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	今後見込まれる施設・設備の老朽化に伴う大規模修繕を見据え、長期的視点に立った施設の管理運営を実施していく必要があります。 原料の安定的な確保による良質な堆肥生産と、堆肥販売を通じた「食農循環」の推進を図ることが重要です。
上記の課題解決のための有効策	長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、(有)いいだ有機との協議を進めていく必要があります。堆肥の販売を通して、消費者と農業者をつなげる「食農循環」の認知度の向上に取り組む必要があります。
次年度に向けての取り組み	長期的視点に立った施設の管理運営体制を構築するため、引き続き(有)いいだ有機との協議を進めていきます。生産団体等との連携を深めて堆肥のさらなる販路拡大に努めるとともに、堆肥の販売を通して、市内の消費者と農業者をつなげる「食農循環」の認知度の向上を図ります。